

3 ～颯娃小学校地引網体験活動～ 年ぶりの大漁に小躍り

5月11日、颯娃小学校の児童が前原海岸にて地引網漁を体験しました。これは30年以上続く伝統行事で、郷土および海の生き物に対する関心を高める機会となっています。児童たちは何が捕れるかわくわくしながら懸命に網を引き、大漁の魚に喜びの声を上げました。捕れた魚について鹿児島水産高校の先生からの授業を受けた後は、保護者の皆さんがその場で調理してくれた魚を美味しく食べました。



▲久しぶりの大漁に喜ぶ颯娃小学校6年生の皆さん。当日は海岸清掃も頑張りました。

ホ ～第24回ホタルの夕べコンサート～ タルの里に今年も光が

5月18日、旧神殿小学校講堂で第24回ホタルの夕べコンサートが行われました。来場者は、神殿の子どもたちによる神殿ホタル太鼓の力強い演奏と、川辺フィルハーモニー管弦楽団の素晴らしい演奏に聞き入っていました。あいにくの雨のため、コンサート終了後の神殿川でのホタル観賞はできませんでしたが、後日訪れるとホタルの光が宙を舞っており、とても幻想的な風景となっていました。



▲コンサートの最後では、川辺フィルハーモニー管弦楽団の演奏に合わせて、「ふるさと」の合唱が行われました。

平 ～南九州市戦没者追悼式～ 和と命の尊さを胸に

5月21日、南九州市戦没者追悼式が知覧文化会館で行われ、颯娃、知覧、川辺の遺族会の方や関係者約150人が参列されました。南九州市長が式辞を述べた後、来賓の皆さんや遺族会代表が追悼のことばを捧げられました。川辺町遺族会の中迎博美会長は、自身の経験を振り返り、戦争を知らない世代へ平和と命の尊さを継承して行くことの大切さを訴えられました。



▲参列者全員で献花をし、戦没者のご冥福を祈り平和への誓いをあらたにしました。

令 ～京都の中学生による灯笼磨き～ 和に平和への願いあらたに

5月22日、洛南高等学校附属中学校（京都府）3年生240人が、知覧特攻平和会館を見学後、平和会館周辺の石灯笼の清掃活動を行いました。生徒代表が「戦争経験者が少なくなり体験談を聞く機会が減少しているなか、今日の体験はすごく心に残るものでした。感謝の気持ちを忘れずに今後生活していきたい」とあいさつ。翌日は種子島で日帰り研修後、再び本市に戻って2泊3日の民泊体験をしました。



▲平和学習の一環として始まったこの清掃活動は今年で8回目となります。